

本地域のめざすまちの姿の実現に向け、熊本市都市マスタープラン（平成21年3月改訂）や城南都市計画区域マスタープラン（平成16年5月策定）などを踏まえ、以下のような空間構成を基本とした土地利用の推進を図るものとします。

## 1 ゾーンごとの土地利用方針

### ◆住宅居住ゾーン

計画的に良好な住宅地の形成に努めるとともに、安易な市街地の拡大を抑制し、計画的な土地利用の促進を図ります。

### ◆沿道商業・業務ゾーン

国道266号及び町道東阿高今線沿線周辺の商業集積地について、既存の商業地や地域特産品などの個性を生かしながら、地域の個性と活気ある商業・業務ゾーンの形成を図ります。

### ◆工業地ゾーン

城南工業団地などの既存の工業地について、施設周辺の整備及び環境に配慮した整備を推進するとともに、企業誘致を進め、地域の雇用の場の創出を図ります。

### ◆既存集落を形成しているゾーン

周辺環境との調和を考慮して敷地規模、道路・公園・排水などに関する一定の基準を備えた、効果的効率的な公共施設の整備を推進していきます。

### ◆農業的土地利用を保全すべきゾーン

優良農地などの保全を推進するとともに、集落を形成している地域については、農林業の生産環境を保全しつつ、集落内開発制度などを活用した、農業地域のコミュニティ維持や生活環境の向上を図ります。

### ◆自然環境を保全及び形成すべきゾーン

本地域の山林などについて、国土保全機能や景観確保の観点から森林資源の適正な保全を推進します。

## 2 拠点地域の基本方針

### ◆都市拠点

国道266号及び町道東阿高今線沿線周辺を中心市街地の都市拠点として、商業、業務及び公共施設などの集積を図り、都市活動を活性化するための拠点とします。

### ◆工業拠点

既存の工業地を工業拠点として位置づけ、今後とも工業拠点としての機能を維持していきます。

### ◆公共施設拠点

現城南町役場周辺及び火の君総合文化センター周辺など公共施設が集積する地域を地域活動の拠点とします。

### ◆レクリエーション拠点

吉野山自然公園、雁回山公園及び塚原古墳公園をレクリエーション拠点として位置づけ、住民の憩いの場の形成を図ります。

## 3 連携軸の形成方針

### ◆都市連携軸

国道266号、県道宇土甲佐線、県道小川嘉島線、県道田迎木原線などの主要幹線道路を都市連携軸と位置づけ、熊本都市圏、宇城市など県南部との連携を強化します。

### ◆水と緑の軸

緑川、浜戸川などの主要な河川を水の軸とし、市街地周辺の山地・丘陵地を緑の軸と位置づけ、自然景観や環境の保全・整備を図ります。

### 【本地域における土地利用】



※本図は概ねの位置を示したもので、正確な形状・大きさまで示したものではありません。